

令和5年度
菊川市議会報告会

議会ふれあいミーティング
「語ら座あ」

～開かれた議会を目指して～



本日のもくじ

①市議会の仕事と概要

②令和4年度政策討論会

③総務建設委員会の活動

④教育福祉委員会の活動

⑤意見交換会

①市議会の仕事と概要

1. 議会の仕事
2. 議会の概要
3. 議会改革の取り組み

1.議会の仕事



議 決



選 挙 ・ 同 意



調 査 ・ 検 査



市 政 の チェック



請願(陳情)の審査



提案書を市長へ提出

市長、総務部長、企画財政部長へ提案内容を説明

意見書提出・決議

2. 議会の概要①

(議員任期)

任期	令和3年1月30日 ~ 令和7年1月29日
----	-----------------------

(議員定数)

条例定数	現議員数	男女内訳
17人	17人	男性13人 女性4人

※平成20年6月定例会で定数条例改正：22人から5人削減し17人

(会派別議員数)

会派名	所属議員数
みどり21	11人
市民ネット	2人
至誠の絆	2人
会派に所属していない議員	2人

(年齢階層別議員数)

年齢階層	人数	平均
25～30歳	2人	62.65歳
31～40歳	0人	
41～50歳	1人	
51～60歳	2人	
61～70歳	6人	
71歳以上	6人	

(期数別議員数)

期数	人数
1期	6人
2期	6人
3期	4人
4期	1人

(議員報酬)

役職	報酬額
議長	395,000円
副議長	320,000円
委員長	305,000円
議員	300,000円

(政務活動費)

政務活動費	100,000円	一人当たりの年額
-------	----------	----------

(議会事務局)

職員定数	現職員数	職員
5人	5人	局長、総務係（4人）

※令和元年2月定例会で定数条例改正：4人から1人増員し5人

2.議会の概要②

(常任委員会)

総務建設委員会	9人	議員から提出された常任委員会所属希望を基に会派代表者会議にて協議調整し決定する。 ※基本2年で委員会移動
教育福祉委員会	8人	

(特別委員会)

一般会計予算決算特別委員会	17人	全議員
---------------	-----	-----

(議会運営委員会)

※正副議長はオブザーバーとして参加

議会運営委員会	7人	各常任委員会から推薦（総務建設委員会4人／教育福祉委員会3人）
---------	----	---------------------------------

(その他の会議等)

全員協議会	17人	全議員
会派代表者会議	4人	議長、会派代表
議会報告企画委員会	7人	各常任委員会から推薦（総務建設委員会4人／教育福祉委員会3人） 議会報告会は17人
政策討論会幹事会	6人	各常任委員会から推薦（総務建設委員会3人／教育福祉委員会3人） 政策討論会は17人
議会改革推進委員会	7人	会派に所属していない議員が2名以上いる場合はそのうちの1人。他は会派の所属議員数の比率により割り当てられた人数を会派ごと選出。計6人
議会だより編集委員会	6人	各常任委員会から推薦（総務建設委員会3人／教育福祉委員会3人）
議会ICT推進会議	5人	副議長、常任委員会から推薦（総務建設委員会1人／教育福祉委員会3人）

3.議会改革の取り組み

（議会改革度ランキング）

早稲田大学マニフェスト研究所が実施する「議会改革度ランキング調査」で菊川市議会のランキングは年々上昇傾向にあります。議会改革を行ってきた成果が徐々に表れてきていると感じています。ただし、ランキングが全てではないため、ランキングにとらわれず、今後も改革項目の大小関係なく「開かれた議会」「市民参加を推進する議会」を目指し議会改革を推進していきます。

※議会改革度調査は、早稲田大学マニフェスト研究所が毎年実施している調査です。全国すべての地方議会（都道府県市区町村議会）を対象とし、2010年（平成20年）から実施している調査です。

（議会改革の取り組み）

菊川市議会では、議会の公正性及び透明性を確保することにより、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指し、議会の仕組みや議会運営、議会活動など様々な改革に取り組んでいます。ここでは主に基本条例制定以降の改革項目について掲載しています。

※細かな事務改善的、手続き的な議会改革については掲載していません。

＜議会改革度ランキング＞

調査年	全国総合	県内
2022（R4）	57 位	1 位
2021（R3）	50 位	1 位
2020（R2）	75 位	2 位
2019（H31/R元）	138 位	3 位
2018（H30）	272 位	9 位
2017（H29）	220 位	9 位

年	項目	内 容	区分	資料P
平成31年 令和元年	ペーパーレス会議システム	ペーパーレス会議の導入により議員に貸与したタブレット端末及び附属備品の適正な使用について必要な事項を定めるため、その運用に関して必要な事項を示す「タブレット端末運用規程」を制定。（令和元年10月29日） 各議員にタブレットを貸与し、ペーパーレス会議システムを導入。12月定例会からペーパーレスでの本会議運営を実施した。	新規	P.41
令和2年	議会業務継続計画（BCP）	感染症を含めた災害時の議会及び議員の役割や行動方針をまとめた菊川市議会の業務継続計画（BCP）を策定。（令和2年11月策定）	新規	—
令和4年	長期欠席時の報酬減額	議員の職責及び議会への市民の信頼の確保に鑑み、議員が長期欠席のためにその職責を果たすことができない場合における議員報酬や期末手当の支給に関し減額措置を講ずるため、「議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部を改正。（令和4年2月定例会）	改正	P.45
令和4年	委員会のオンライン会議及び運用規程	災害の発生や感染症のまん延等、やむを得ない理由により委員を招集することがあると認めた場合はオンラインにより委員会を開催できるよう「委員会条例」及び「会議規則」の一部を改正。（令和4年2月定例会）また、オンラインを活用した会議の運用に関して必要な事項を示す「オンライン会議運用規程」を制定。（令和4年3月28日）	改正	—
令和4年	個人情報保護条例	議会が保有する個人情報の取り扱いについては、菊川市個人情報保護条例施行規則の例により運用していたが、個人情報保護法が改正され、地方公共団体の執行機関には、今回の法律改正による新たな個人情報保護法の規定が直接適用されることとなった。地方議会は、国会と同様、改正法の適用対象外とされ、議会における個人情報の取り扱いは、法形式や規律の内容も含め、その自律的な対応に委ねられた。このことから、「菊川市議会個人情報保護条例」を新たに制定する。	新規	—

②令和4年度政策討論会

- 1 .政策討論会の「テーマ」
- 2 .政策討論会の「流れ」
- 3 .政策討論会の「結果」

1.政策討論会の「テーマ」



（菊川市議会基本条例第12条）

市政に関する重要な政策及び課題に対して、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得るため、開催する。

菊川市の今、重要な課題にテーマを絞り、全議員で政策の提案をして、意見をまとめ上げるもの。

「男女共同参画の推進」

2.政策討論会の「流れ」

政策討論会のテーマを「男女共同参画の推進」に決定

3班に分かれ班ごとに分担 意見交換や実情調査
「女性の社会進出」「意識改革」「労働・子育て環境」

全体会で各班発表 意見交換

全体会で提案の発表、意見交換
すべての意見を幹事会でまとめる

幹事会にて提言(素案)の作成

全体会にて最終調整

市長へ提言書を提出

市長より回答書を受理

継続して、事業・決算などでチェック



© 菊川市



議長、政策討論会正副座長から提言書を市長へ提出

3.政策討論会の「結果」

提言内容

・偏見バイアス事例集やパンフレット等を作成して年代に応じた広報をすること。

・災害対応力の強化のために女性の視点を積極的に取り入れること。

・女性が働きやすい職場環境整備の推進を働きかけること。

・育休の目標を達成できるように、環境整備と制度の周知に努めること。

・介護が必要な方の家族の負担軽減の施策を図ること。

・ひとり親世帯を含む子育て世帯の直接の声を聴く機会の設定を検討すること

市からの回答

・様々な年代に対する働きかけや啓発活動について検討を行う。

・女性視点を加えた防災活動の必要性については講演会や地区会議などの中で啓発を行っていく。

・事業所アンケートにおいて、女性が働きやすい環境整備状況を調査し、訪問活動等でより働きかけていく。

目標達成に向け、環境整備の取り組み内容の充実を図る。

介護負担を分散できるように、各家庭の介護力に合わせたきめ細かな相談対応を行う。

子供に関する市民団体などに直接出向き、男女共同参画に関係する現状の聞き取り等の実施を検討する。



③総務建設委員会の活動

- 1.令和4年度「委員会テーマ」
- 2.令和5年度「当初予算審査」

1.令和4年度総務建設「委員会テーマ」

「公共事業の民間主導による開発について」



駅南北自由通路設置に伴い、今後の開発に想定される駅北地区の参考に、周辺市における民間開発の状況や本市の将来像について調査研究を行った。

〈菊川駅南北自由通路のスケジュール〉

年度 工事内容	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
詳細設計						
仮設工事						
自由通路新設工事						
南口駅前広場整備 仮駅舎撤去						
北口駅前広場整備						



※進捗状況により変更となる可能性があります。

1.令和4年度総務建設「委員会テーマ」 「公共事業の民間主導による開発について」

〈活動の流れ〉

開催日	内容
令和4年4月21日	令和4年度の活動テーマについて
令和4年7月14日	菊川駅北整備構想について【都市計画課】 食肉センター及び周辺整備計画について【農林課】
令和4年9月28日	委員会視察質問事項調整について
令和4年10月18日	視察研修 袋井市役所 都市整備課 ・袋井駅南まちづくり事業について
令和4年10月27日	視察研修 磐田市役所 都市整備課 ・見付美登里土地区画整理事業について
令和4年11月24日	委員会視察の報告、まとめについて

1.令和4年度総務建設「委員会テーマ」

「公共事業の民間主導による開発について」

【活動のまとめ】

これらの調査研究を踏まえ、食肉センター周辺整備や菊川駅北開発にあたっては、地権者や周辺住民の意向を十分考慮したうえで、先進地の事例や新たに創出されるアイデアを、本市のそれぞれの開発地域により良いかたちで融合させ、実施計画を策定することが望ましい。また、今後の開発には、開発スピードや希望する施設の誘致力の高い民間活力を最大限に活用し、一方で用地の転用や資金面での補助については、市が国・県・関係機関等と連携して進めるなど、役割分担を明確に行う必要がある。これらについても、先進地の事例を基に本市に合った対応が望まれる。

2. 令和5年度総務建設分科会「主な予算審査」¹⁷

1. 災害対策本部棟整備事業費 798万8千円

災害発生に災害対策本部の機能が確実に発揮できるように、災害対策本部棟の整備をおこなう。本年度は基本設計を実施。

【菊川市防災対策強靱化事業構想】

■概要

- ・老朽化した堀之内体育館の建て替え
- ・市役所本庁から独立した災害対策本部棟の新設及び災害対策本部機能移転
⇒新堀之内体育館と災害対策本部棟の一体的整備
- ・老朽化した市役所北館及び旧町部地区センターの解体及び駐車場の整備拡張

■事業年度

令和4年度から令和10年度
(7か年度間)

■概算事業費

20億円から25億円



2.令和5年度総務建設分科会「主な予算審査」

1. 災害対策本部棟整備事業費 798万8千円



公共施設維持管理計画との整合性を伺う。

公共施設等総合管理計画の基本方針では。施設総量の適正化をうたっているが、災害対策本部棟の整備により生じる本庁舎の空きスペースの有効活用や他施設の建物面積の削減など、中長期的に延床面積の総量を削減し総合管理計画との整合を図っていくことが必要となる。



2.令和5年度総務建設分科会「主な予算審査」

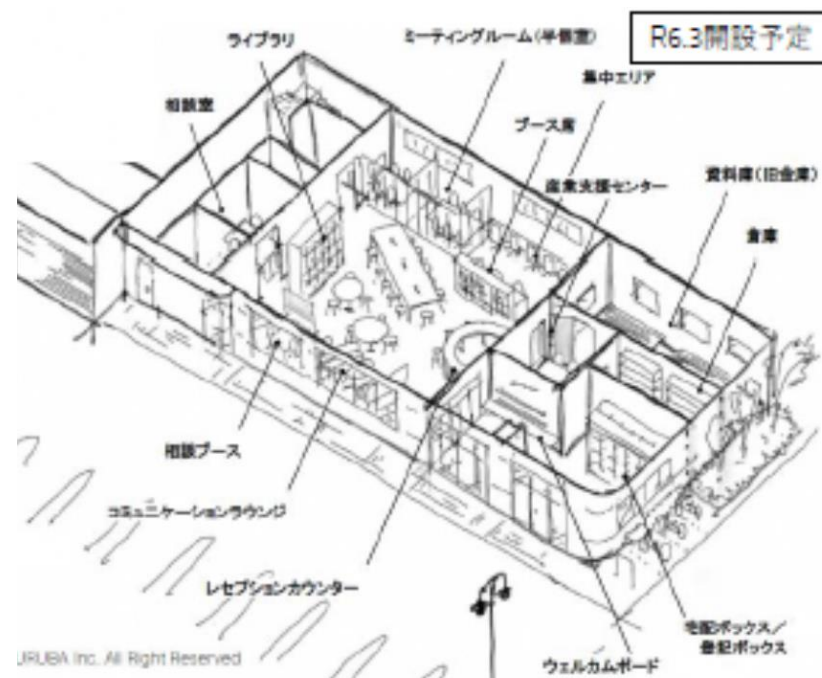
2. 創業支援・事業承継支援事業

3,377万7千円

専門的な知識を有する相談員が常駐し、事業承継や創業希望者に対する相談に応じる。また、セミナー・交流会などを開催するワンストップ相談窓口の開設及び販路拡大などの事業者の課題を解決すべく、コワーキングスペースを相談窓口内に開設する。

【菊川市産業支援センター（仮）】

場所	駅前の島田掛川信用金庫支店跡
予算	令和5年度 3,377万円
事業内容	事業継承・創業・経営相談
	地域産業支援機関と連携
	各種調査の実施、分析、提供
	コワーキングスペース運営委託
	セミナー・イベントの開催



2.令和5年度総務建設分科会「主な予算審査」

2. 創業支援・事業承継支援事業

3,377万7千円



地域の問題解決や魅力向上に必要性を感じた発想と経緯は。

今回、国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を申請したが、この交付金を活用するためにコワーキングスペース等を設置するのではなく、産業支援センターに相談にくる事業者に対してより効果的な支援ができないかということを検討した結果、コワーキングスペースの設置を行う。



④教育福祉委員会の報告

- 1.令和4年度「委員会テーマ」
- 2.令和5年度「当初予算審査」

1.令和4年度教育福祉委員会テーマ

「幼保施設の現状把握と今後のあり方」



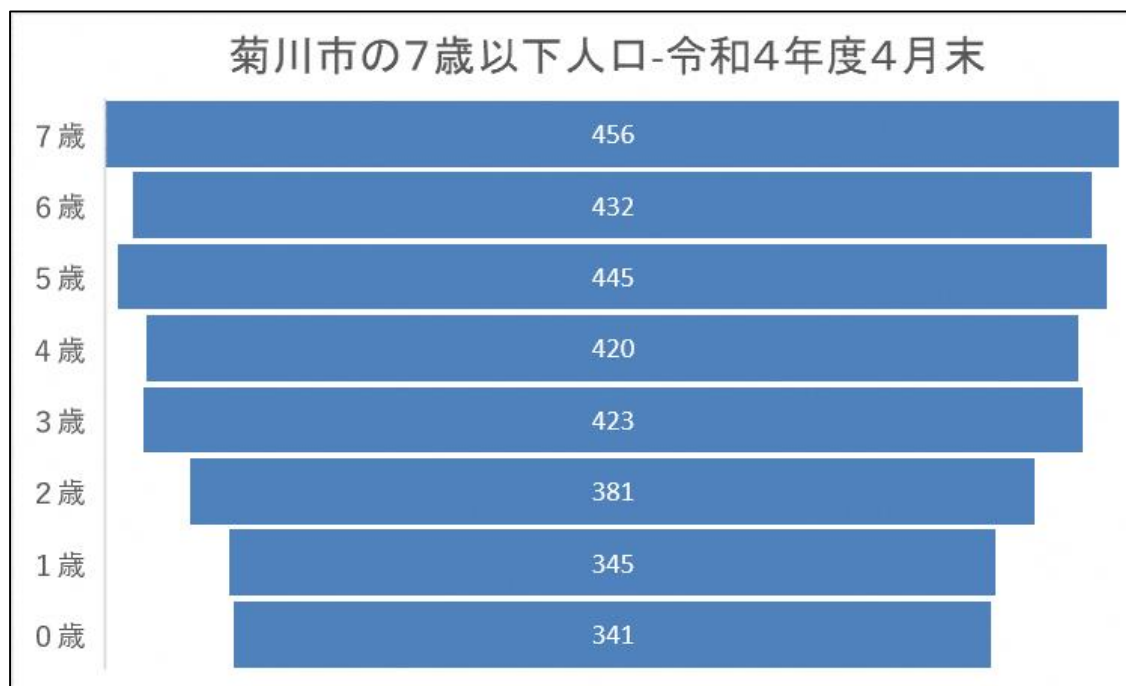
当市でも進む少子化に対応するために、幼保施設がどうあるべきかを考え、保育環境を整えていく必要があるため、令和4年度の調査研究のテーマとした。

【課題】

「公立の小笠北幼稚園の建替えと共にこども園化（保育の定員増）」

「公立のおおぞら認定こども園の民営化」

出生数の減少が著しい中の二つの事業をそのまま進めていいのかという点が課題



1.令和 4 年度教育福祉委員会テーマ

「幼保施設の現状把握と今後のあり方」

〈活動の流れ〉

開催日	内容
令和 4 年 5 月 26 日	令和 4 年度保育施設の入所状況について 菊川市公立認定こども園運営形態等懇話会について 菊川市幼保施設整備計画について 菊川市子ども・子育て支援事業計画について(こども政策課説明)
令和 4 年 6 月 10 日	公立園としての役割と今後について 新園舎建設に係る基本設計と実施設計の違いについて 新園舎建設のスケジュールについて (こども政策課説明)
令和 4 年 7 月 8 日	おおぞら認定こども園・小笠北幼稚園視察及び意見交換会
令和 4 年 7 月～8 月	私立園視察 (2 園)
令和 4 年 8 月 4 日	私立園長との意見交換会
令和 4 年 8 月 26 日	公立園視察のまとめについて 私立園長との意見交換会のまとめについて
令和 4 年 10 月 3 日	意見交換会 (こども政策課説明・意見交換) 意見書の提出について
令和 4 年 10 月～11 月	私立園視察 (12 園)
令和 4 年 12 月 21 日	意見書に対する回答の説明について (こども政策課より) 委員間協議
令和 5 年 1 月	私立園へ意見書及び回答書の配布・説明・意見交換

「幼保施設の現状把握と今後のあり方」

【活動の結果】

意見書の内容

- ・菊川市が考える公立園の役割を明確にすることが必要
- ・これまでは民間園に頼ってきたが、今後は市として幼児教育にどう関わるか明確にすることが必要
- ・小笠北幼稚園について、公立園の役割をどう反映し、基本設計に活かしていくか、明確にすることが必要
- ・今後の菊川市の子育て方針、私立園の経営補填など各私立園長との話し合いの機会をより多く持つこと。
- ・保護者の意見を聴取し、できる限り反映させること。
- ・今後の公立園における配置について、適切な方向性を示すこと。



市からの回答

- ・医療的ケア児や要保護児童など
- ・多様な子供が学べる教育の推進
- ・子育て支援施設のネットワークの役割
- ・民間幼保施設の抱える課題解決に向け支援体制を整え、キャリアアップの研修機会を提供する。
- ・「訪問型小集団療育」「未就園児の相談支援」などできる空間を整え、バリアフリー化を基本とする。
- ・「子ども子育て支援事業計画」アンケート調査を実施し、需要を確認し進めていく。
- ・市の運営方針について、おおぞら認定こども園の保護者を対象に説明会を開催し、意見をできる限り反映していく。
- ・公立幼保施設の役割を担うことができるように保育士の資質と専門性を向上させ必要な職員配置を行う

②令和 5 年度教育福祉分科会 主な予算審査

25

①保育施設整備事業費 2,417万1千円

老朽化した小笠北幼稚園の園舎整備及び認定こども園化に向けた実施設計を行う。

【園舎整備とこども園化の概要】

開園までのスケジュール	令和4年度～6年度 設計・工事・手続き等
	令和5年度 開園、旧園舎解体工事等
公立園としての役割	子育て家庭へ遊び場提供、 相談支援体制の展開
	行政と連携し、医療的ケア児や 要保護児童支援への対応
	多様な子供が学ぶための インクルーシブ教育の推進
	民間園で対応できない児童の 受け入れ
	子育て支援施設のネットワーク としての役割

【質疑と答弁】



この事業に対し、保育士や利用者の
意見聴取はどの程度しているか

令和4年度の基本設計で施設の配置や内容について幼稚園の先生等と協議をし、現在の形となった。今後も基本設計と同じように聴取し、小笠北幼稚園、おおぞら認定こども園の先生方と協議をし進めていく。保護者には説明を開催し、意見等をもらい、順次進捗状況を報告している。



②令和5年度教育福祉分科会 主な予算審査■

②保育事業費

1億1,891万8千円

保育サービスに関する事業を円滑に行うとともに、保育サービスを実施する認可保育所等に対し補助金を交付する。

保育士等就業奨励金 230万円

保育環境改善等事業 620万円

ICT推進化等事業 225万円

物価高騰対策緊急支援 656万円

【質疑と答弁】



厚労省から推奨通知が出された使用済みおむつの処分の現状と取り組みは

市内全園への聴きとりでは、使用済みおむつの回収と実施をしているのは6施設、未実施は10施設あり、未実施園でも処分を考えていきたいとの回答がであった。保管用ゴミ箱の購入等の補助があるため、再度園に所要額調査をし、積極的に活用していきたい。



■ 令和 5 年度教育福祉分科会 主な予算審査 ■²⁷

③ 社会保障・税番号制度事業費 1,264万7千円

マイナンバーカード取得に向けた市民への積極的なアプローチとして、申請補助と写真撮影無料サービスを実施し、マイナンバーカードの交付率向上を目指す。

〈質疑と答弁〉



マイナンバーカードの取得数、割合の状況は

令和 5 年 2 月末時点で、申請件数は 3 万 5,891 件、申請率 74.96%、交付件数は 3 万 1,456 件、
交付率は 65.7% である。

国は令和 4 年度末までにマイナンバーカードがほぼ
全国民に行き渡ることを目指しているが、現在の普
及状況からすると、到達は困難。
今後も普及促進に取り組む。



⑤意見交換会

テーマ 「子育て支援と少子化対策」



© 菊川市

皆さまへのご案内

市民説明会

どんな内容でも結構です。
菊川市議会では、希望される
市民の皆様と意見交換
を行う、**市民説明会**を
開催しています。



請願と陳情

市政に対してご意見やご要望があるときは、どなたでも**請願書**
や**陳情書**を市議会に提出することができます。請願書を提出
するときは、1名以上の市議会議員の紹介が必要となりますが、
陳情書の場合は必要ありません。

ご清聴ありがとうございました。

